

みはら再発見 わたしのまちのふるさと大使

市の情報発信や産業・観光などの振興のため、市にゆかりのある15人と1組に「三原市ふるさと大使」を委嘱しています。

最終ページでは、三原市ふるさと大使の皆さんの三原の好きなおところや思い出などを紹介します。

観光課 ☎0848・67・6015

平成30(2018)年12月号
第165号 毎月1日発行
編集・発行／三原市秘書広報課

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
秘書広報課 ☎0848・67・6007
市ホームページ <http://www.city.mihara.hiroshima.jp/>

再生紙と大豆インクを使用しています。
点字版や録音テープ・CDも発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。

故郷三原で暮らしたい

(イエス玉川さんの直筆メッセージ)



浪曲・漫談師 たまがわ イエス 玉川 さん

大和町出身。高校を中退後、単身上京し、玉川良一師の門をたたく。師の紹介で三代目玉川 勝太郎に師事。神父の衣装で漫談を交えながら浪曲をうなる独特のスタイルで人気を博し、昭和51年には日本放送演芸大賞漫談部門ホープ賞を受賞。テレビや舞台などで活躍を続けるとともに各地で独演会を開催している。



私の好きな風景

中学生の時に陸上部の連中と訪れた小佐木島です。

「故郷」と聞いて思い浮かぶ場所を教えてください。
「中学2年と3年の夏休みに私が企画して陸上部の連中を合宿と称し、キャンプに連れて行った小佐木島ですね。大和町の徳良から全員(10人)が自転車である恵下谷を下って三原港へ。港から船で渡るわけですが、そのワクワク感、今でもそのまま残っています。小佐木島に3泊して毎日、日が暮れるまで海水浴。その時に海水浴場でのべつ流れる歌謡曲、この歌はなんじゃろうか? 次の年に分かりました。あ

「故郷」を離れてみて感じたことは。
「広島県立工業高校を2年9カ月残して、玉川勝太郎師の下で修行の道に入ったのですが、正直、修行中、故郷はないものと自分に言い聞かせて努めました。でなきゃやめて帰りたいからです。今は故郷は私の宝物です」
「今後の抱負を教えてください。
「芸人ですから芸で市に貢献できればなーと!!」



三原市の人口 (10月31日現在)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	43,706 世帯 (-188)
人口	94,561 人 (-1,282)
男	45,283 人 (-619)
女	49,278 人 (-663)

人口移動の詳細については
広島県 人口移動 月報 で
検索

税などの納期 (普通徴収)

- 固定資産税・都市計画税(第3期)
 - 国民健康保険税(第6期)
 - 介護保険料(第6期)
 - 後期高齢者医療保険料(第6期)
- 納期限 25日(火)まで
夜間収納窓口(19時まで)
毎週木曜日

航空機の騒音測定結果(10月分)(Lden)

- ▶正広局(本郷町善入寺正広)=50.9
- ▶本郷局(本郷町船木川西上)=54.1

あ・と・が・き
秋のやっさ祭り。神奈川から遊びに来ていた親戚の女の子と、沿道で踊り手たちを応援しました▼小学4年生の彼女。初めて三原に来たのは1歳の時、東日本大震災の直後でした。放射能の飛散がうわさされ、買い占めで店先から粉ミルクや紙オムツが消えた関東を逃れ、母娘でわが家に滞在し避難生活を送ったのでした▼くしくも復興祈願祭となった今年のやっさ祭り。「次は元気になった三原で、真夏のやっさを見せてあげたいな」。そんな事を思いながら、帰りの新幹線を見送りしました(S)